

時田 かずいちろう
事務所

〒916-0141 丹生郡越前町西田中2丁目606
電話：0778-34-2533
メール：fs-asahi@ebony.plala.or.jp



目次

Table of Contents

一般質問 TOPIC

01

インバウンド観光客対策、推進について

一般質問 TOPIC

02

教員の働き方改革と休日部活動の地域移行について

一般質問 TOPIC

03

福井県内の高校のあり方について

Diary Record TOPIC

04

活動ダイアリー

※その他、土木行政の人材確保とDX推進についての質問もしましたが、省略させていただきます。



フルバージョンはQRコードから

ご挨拶

町民の皆様方には日頃より大変お世話になり、また福井県政発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
今、私たちを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。少子化・人口減少による人出不足や円安更にはエネルギー価格をはじめとする物価高騰問題。また県内においては、北陸新幹線敦賀以西ルートや使用済み核燃料の搬出計画など直面している課題も多数ございます。皆様の暮らしが少しでも良くなるよう、また福井県そして越前町発展のために、これからも全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

所属担当 **会派「自民党福井県議会」** **時田 かずいちろう**
産業常任委員会

一般質問 TOPIC

01 インバウンド観光客対策、推進について

時田 インバウンド観光客の増加に向けて、インバウンド推進室を中心として今後どのように取り組んでいくのか。

知事 まず1つには海外の旅行会社、ここ（宿泊施設）への営業の強化を行う。それから、いろんな情報の発信の強化をし、さらには観光コンテンツを充実をさせ、免税店登録にかかる経費を県の方で負担をするという支援をさせていただいています。（答弁抜粋）

時田 移動手段や宿泊先がすぐに分かる「楽に旅ができる福井」を目指すため観光地と宿泊先などを結ぶ公共交通機関やルートなど、福井県内の移動に特化した多言語対応のアプリやホームページなどを作成してはどうか、所見を伺う。

交流文化部長 観光地の情報とアクセス方法を記載した外国語ガイドブックを作成し、観光案内所などで配布しておりますほか、ホームページでも発信を行っております。県や市町のガイドブック、ナビについてはグーグルマップをご利用いただくなど、それぞれの特性を生かした情報発信を行っております。（答弁抜粋）

時田 外国人旅行者の多様な食習慣に対応できるよう、県内観光地における食事メニューの多言語対応や、ピクトグラムの活用、ベジタリアン・ヴィーガン、ハラールに対応できるメニューの充実を進めてはどうか。

交流文化部長 ハラル等への対応を希望する宿泊事業者や飲食店等には、インバウンドアドバイザーがハラール対応ガイドの提供、議員ご提案いただきました、ピクトグラムなどの活用方法をアドバイスいたしまして、外国人旅行者に対応できる飲食店を拡大してまいりたいと考えてございます。（答弁抜粋）

時田 より多くのムスリム旅行者の受入を行うために、お祈りのスペースの確保や、他人に髪や肌を見せられない女性が休息や滞在しやすいスペースを確保するなど、ムスリム旅行者受入れのための環境の整備を進めるべきと考えるが、所見を伺う。

交流文化部長 イスラム教の習慣といたしまして1日5回の礼拝への配慮が必要不可欠であります。今後、他県の観光施設が行っている対応事例等をアドバイスしながら、対応を応援してまいりたいです。（答弁抜粋）

02 教員の働き方改革と休日部活動の地域移行について

時田 令和5年度の実績を伺うとともに、その結果をどのように分析し、それを踏まえた今後の取組みについての所見を伺う。

教育長 時間外在校等時間月80時間以上の教員は、令和5年度は320名ということで、この2年間で68%減ったということで教員数全体で0.4%程度ということで、かなり低減しております。さらに月45時間以内の教員の割合を向上させることが必要で、さまざまな形でさらなる業務改善に努めていきたいというふうに考えております。(答弁抜粋)

時田 県内市町の休日部活動廃止時期について現状を伺うとともに、廃止を決定した市町においてはどのように地域移行にかかる課題に対応しているのか伺う。

教育長 令和7年度末の改革推進期間までに地域移行を目指すとしているのは、福井市、敦賀市、越前町など10市町ございました。なおその他の7の市町につきましても、現在協議会等で検討を進めている状況でございます。地域移行に当たっての課題といたしましては、受け皿となる地域クラブ、そして指導者の確保があげられ、さまざまな経費負担についての支援を行って市町の後押しをしているという状況でございます。(答弁抜粋)

時田 部活動地域移行にかかる県としての具体的な方針を示すとともに、課題への対応について県が主体となって進めていただきたいと考えるが所見を伺う。

教育長 コーディネーターの配置、地域クラブの活動に必要な経費も支援をしているという状況でございます。また、中体連の大会のあり方については、日本中体連が9つの競技を廃止する方針を打ち出し、代替大会の検討がなされているという状況でございます。(答弁抜粋)

03 福井県内の高校のあり方について

時田 地域を担う人材を育成し、地域を存続させていくため、普通科系高校や職業系高校が特色を持ち、企業や大学とも連携したカリキュラムとするなど、地域と密着した高校にしていくべきと考えるが、所見を伺う。

教育長 地域の課題を発見・解決する探究活動を通して、地域との関わりを深め、地域の誇りを育む教育を進めてきているところでございます。企業連携の例といたしまして、高志高校では福井産のコメを使ったお茶の生産をJAと共同で企画いたしました。また、福井農林高校では金福スイカをより甘くするための最新の栽培技術について、地元企業と共同研究を行っております。(答弁抜粋)

時田 高校生の能力を伸ばすためにどのような形がベストであるかを考え、県立高校の再編の準備を進めていくべきと考えるが、再編の時期と方針について所見を伺う。

教育長 各高校におきましては、スーパーサイエンスハイスクールですとかマイスターハイスクール、DXハイスクールなど、国が進める政策に積極的に指定を受けておまして、また地域みらい留学の導入など、それぞれの努力で各高校の魅力向上を図っているところでございます。令和2年度の高問協の答申では、『地元市町の密接な協力を得ながら各高校の魅力化・特色化をさらに進め、地域のためにできる限り存続させることが望ましい』との方針を掲げているところでございます。(答弁抜粋)

04 活動ダイアリー

